

みずほCustomer Desk Report 2018/08/30号(As of 2018/08/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.23 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.15	1.1693	129.95	1.2869	0.7344
SYD-NY High	111.83	1.1710	130.85	1.3033	0.7348
SYD-NY Low	111.12	1.1652	129.59	1.2846	0.7276
NY 5:00 PM	111.68	1.1709	130.76	1.3029	0.7309

NY DOW	26,124.57	60.55	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	8,109.69	79.65	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	2,914.04	16.52	米国2年債	2.6795	1.21bp
日経平均	22,848.22	34.75	米国5年債	2.7829	0.66bp
TOPIX	1,739.60	7.97	米国10年債	2.8849	0.18bp
シカゴ日経先物	22,985.00	175.00	独10年債	0.4045	2.50bp
ロンドンFT	7,563.21	▲ 54.01	英10年債	1.4895	3.95bp
DAX	12,561.68	34.26	豪10年債	2.5730	0.30bp
ハンセン指数	28,416.44	64.82	USDJPY 1M Vol	6.43	0.17%
上海総合	2,769.29	▲ 8.69	USDJPY 3M Vol	7.18	0.02%
NY金	1,211.50	▲ 2.90	USDJPY 6M Vol	7.65	0.10%
WTI	69.51	0.98	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	192.96	1.24	EURJPY 3M Vol	8.33	0.02%
ドルインデックス	94.54	▲ 0.18	EURJPY 6M Vol	8.64	▲ 0.04%

【昨日の指標等】

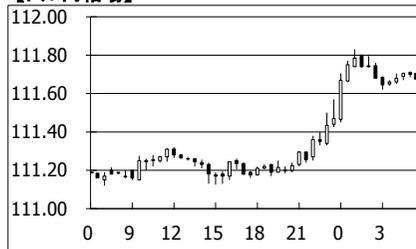
Date	Time	Event	結果	予想
8月29日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 4.2%	4.0%
	21:30	米 個人消費	2Q 3.8%	3.9%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q 2.0%	2.0%

【本日の予定】

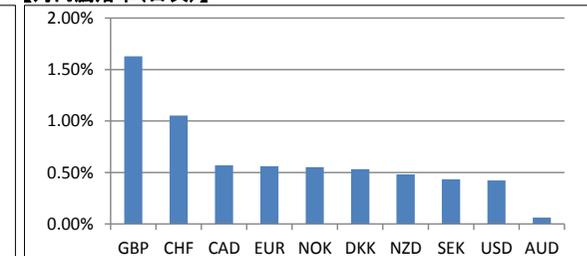
Date	Time	Event	予想	前回
8月30日	21:30	米 個人所得	7月 0.4%	0.4%
	21:30	米 個人支出	7月 0.4%	0.4%
	21:30	米 PCEデフレ率(前月比/前年比)	7月 0.1%/2.3%	0.1%/2.2%
	21:30	米 PCEコアデフレ率(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.0%	0.1%/1.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 212k	210k

東京	オセアニア時間、ドル円は111.20付近での小幅な値動きに終始。東京時間、111.15レベルで取引を開始したドル円は高寄りした日経平均株価が上昇する中、111.25付近まで小幅に上昇。その後、鈴木日銀委員が講演で金融政策の副作用の顕在化に関して「手遅れになるリスクがある」との認識を示すも、相場への影響は限定的。午後に入るとNAFTA交渉でカナダが譲歩の用意があると報道されたことで日経平均株価が一段高となる中、ドル円は日中高値111.32まで続伸。しかしその後は上値を積極的に追っていく展開とはならず、111円台前半での取引となり、111.17レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.17レベルでオープン。特段材料がない中で一定のレンジ内での推移。欧州時間の値幅は15銭程度に限られ、111.30レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1680レベルでオープン。欧州時間朝方に公表された独9月消費者信頼感指数は市場予想対比小幅に下振れする内容。その後、トルコリラが大きく売り進まれるとユーロも連れ安となり、ユーロドルは一時1.1652まで下落。1.1658レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NAFTA再交渉の進展を背景にリスク選好ムードが広まる一方、新規材料に欠けた海外市場のドル円は111.20付近を推移し、111.30レベルでNYオープン。朝方は、米第2四半期GDP(改定値)の結果が4.2%と速報値4.1%から小幅に上昇修正されたことからドル円は111.40まで上昇。その後、米10年債利回りが2.89%まで上昇したことや、英EU離脱交渉でEU首席交渉官を務めるバルエ氏が「前例のない特例的な提携関係を英国に提案する用意がある」と発言したことが伝わり、合意なきブレグジットへの懸念が後退したこと、ユーロとポンドが買われクロス円が上昇したことを受けてドル円は今日3日以上の高値となる111.83まで上昇する。午後は欧州通貨買われドル売り優勢地合いに111.62まで反落するが、NAFTA再交渉やブレグジット交渉合意への期待感から楽観ムードが広まる中、ドル円は底堅く111.70近辺を推移し111.68レベルでクロス。海外時間のユーロドルは、11月1日政府がECBに新たな国債購入プログラムを要請する可能性がある」と伝わったことや(その後ドイツ副首相が同報道を否定)、トルコリラが対ドルで2%超下落したことが嫌気され、1.1652まで下落し、1.1658レベルでNYオープン。午前は上記バルエ氏の発言が伝わったことからユーロ買いが強まり1.1708まで上昇。一旦1.1685まで反落するも、じりじりと下げ幅を縮小する展開に結局この日の高値となる1.1710まで堅調推移し、1.1709レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.20	1.1650-1.1750	130.50-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇した。発表された米第2四半期GDPが予想を上回ったことや、米金利が上昇したことが相場をサポートした。本日は堅調推移がメインシナリオと予想。米国・メキシコで合意したNAFTA再交渉は、カナダとも週内の合意を楽観視しているトランプ米大統領のコメントも報じられており、貿易戦争懸念は小緩んだ状態が続きそうだ。米金利が節目の2.90%に乗せてくれば、ドル円も112円台に乗せてくると考える。但し、昨日はPBOC仲値が前日比元安に設定された人民元で元安が進行したほか、トルコ中銀が市中銀行支援策縮小を示したことでトルコリラも下落している。引き続き新興国発でリスクセンチメントの急速な悪化に伴うドル円下落といったリスクシナリオには留意しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・鶴田